

① 研究課題名：

皮膚又はその他の臓器に発生した血管系腫瘍における遺伝子変異、病理組織学的診断マーカーの検索

② 研究の目的：

皮膚や他の臓器に発生する血管系病変には、発生異常、良性腫瘍、悪性腫瘍を含め、種々の腫瘍が含まれます。これらの血管系腫瘍において、良性腫瘍から悪性腫瘍へ進展するのといった発生機序は解明されていません。今回の研究の目的は、あなたの診断のために採取した病理検体の残りを使用し、血管系腫瘍の発生に関連する新たな遺伝子異常を検索し、タンパク質の発現を確認することです。

③ 研究期間：

西暦2019年 7月 ～西暦2022年 6月 30日

④ 研究責任医師及び研究実施施設一覧

研究責任医師：名古屋市立西部医療センター病理診断科 小林 瑞穂

研究分担医師：愛知医科大学 病理学講座 稲熊 真悟 (名古屋市立西部医療センター非常勤医師)

研究事務局：名古屋市立西部医療センター病理診断科

解析受託機関：愛知医科大学病理学講座

Laboratory of Pathology/National Institutes of Health

(LP/NIH：病理学研究室/アメリカ国立衛生研究所)

⑤ 研究の対象：

2011年5月1日から2019年3月31日までに当院の皮膚科、消化器内科、整形外科において血管系腫瘍（血管肉腫及び血管腫）の生検又は血管系腫瘍の検体採取をされた方

⑥ 調査項目：

試料：当院の皮膚科、消化器内科、整形外科において血管系腫瘍の生検及び血管系腫瘍の検体採取をされた方の病理検体の残余検体（診断のために使用した後の残りの検体）

情報：年齢、性別、病理学的診断名、発生部位、2019年3月31日までの治療状況（診療情報）

⑦ 研究の方法：

血管肉腫の病理検体より未染色標本を40枚作成し、そのうち30枚を Laboratory of Pathology/National Institutes of Health (LP/NIH：病理学研究室/アメリカ国立衛生研究所、責任者：Dr. Jerzy Lasota)へ送付する。LP/NIHにおいて、ゲノムDNA、mRNAを抽出し、Ion Torrent NGS platform（次世代シーケンシング機器）を用いて、遺伝子の変異、発現を網羅的に解析します。解析の結果、新たな遺伝子変異や発現を見つけた場合、今度は血管腫の未染色標本10枚を作成し、血管肉腫検体の残りの10枚と共に愛知医科大学病理学講座（責任者：講師 稲熊真悟）へ提供します。愛知医科大学病理学講座では、見つかった新たな遺伝子に関するたんぱく質の免疫染色を行います。LP/NIH及び愛知医科大学病理学講座の結果と、【利用する試料・情報】で収集する情報を用いて、当院で解析します。本研究に利用する試料・情報の管理は当院病理診断科の研究責任医師（小林瑞穂）が行います。

⑧ 研究成果の公開

関連学会、関連学術研究雑誌における発表を行う。

⑨ 個人情報の保護

LP/NIH 及び愛知医科大学病理学講座へ情報を提供する際、個人を特定する情報（あなたのお名前、ID、住所等）は削除し、新たな番号を付番して匿名化されますので、あなたの個人情報が外部に漏れることはありません。この研究に参加されたくない（あなたのデータを使ってほしくない）場合は、医療者にその旨をお伝えください。あなたの試料・情報は、それ以降利用致しません。なお、研究の進捗状況によっては、あなたのデータを取除くことができない場合があります。

⑩ 利益相反

本研究に、利益相反はありません。

⑪ 問い合わせ先

研究事務局	診療科	研究責任者
名古屋市立西部医療センター 住所：〒462-8508 愛知県名古屋市北区平手町1-1-1	病理診断科	小林 瑞穂 TEL：052-991-8121（代表）